

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 Tel.0820-79-1133
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第39号
平成28年5月

地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。
地震発生の瞬間とその直後にとるべき行動は、皆さんの身の安全にも影響します。日頃から、地震に対する心構えを持てるように努力しましょう。

揺れた時の6つの心得(地震)

大きく揺れた瞬間

1 自分の身を守る

地震時には身を守ることが最優先です。
大きな揺れの際は家具が転倒し、物が落下します。
丈夫なテーブルや机の下に身を伏せましょう。近くに机などがない場合は座布団やクッションなどで頭を保護し、揺れがおさまるのを待ちます。



地震時及び地震の直後(1)

2 火の始末をすばやく



予想外の大きな揺れで立ってられないような場合は、まず**身の安全を確保し、揺れがおさまったら消火**を行きましょう。

消火のチャンスは3回あるので、火を使用していたら、消しましょう。

- ①地震の揺れ始めには、身の安全を確保するのが最優先です。余裕のある場合は、使っていた火の始末をしましょう。
- ②次のチャンスは揺れがおさまった時です。台所のガスやストーブなどを素早く消しましょう。
- ③それでも間に合わなかったり、気がつかなかったりして出火した時には、落ち着いて初期消火をしましょう。(消火器やバケツリレー等)

地震時及び地震の直後(2)

3 落ち着いて行動する



屋内は転倒・落下した物や割れた窓ガラスの破片などが散乱し、大変危険です。最初の揺れでは倒れなくても、余震で倒れる物もあります。靴などを履いて、落ち着いて行動しましょう。

地震時及び地震の直後（3）

4 出口の確保



揺れがおさまったら玄関や窓を開け、避難用の出口を確保します。揺れで家がゆがみ、玄関の戸が開かなくなることもあります。ボールや斧などを常備しておくのも対策のひとつです。

地震時及び地震の直後（4）

5 あわてて外に出ない



地震が来たからといって、あわてて屋外に飛び出すのは危険です。上から屋根瓦や窓ガラスの破片、看板などが落下し、直撃するおそれがあります。

地震時及び地震の直後（5）

6 門や塀に近付かない



屋外で揺れを感じたら、ブロック塀や門柱が転倒する危険があります。すぐに離れましょう。また余震で倒れる恐れもあるので、一度揺れがおさまっても、塀には近づかないようにしましょう。

来館者紹介



3月、4月 見学団体

山口市吉敷自主防災活動視察研修
柳井市立小田小学校 4年生
愛媛県伊予郡松前町消防団

《出前講座》

周防大島町立沖浦小学校



町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。平常時（9時～17時）であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。

また、町内の出前講座もしていますので、各自治会の方々、興味のある方お気軽にお問い合わせください。

山口県大島防災センター Tel(0820)79-1133 Fax(0820)72-1166
E-mail: bousai@town.suo-oshima.lg.jp

なお、毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始は休館日となっています。

